

ふれあいプラザ見学会

合併交付金の見返りに

健康増進施設（スポーツ施設）建設の計画がありました。この6月に「ふれあいプラザ」という名で開館しました。そこで障害者の視点に立つて今後利用しやすい施設なのか、期待感と不安感を持ちながらまずは、見学会を持つことになりました。

平成17年6月5日（日）午前10時集合、参加者は14名。谷田部地区からも4名の会員が駆けつけてくれました。集合してからプラザ職員のご案内でゆっくり館内を見学しました。

見学者の感想は予想以上に手厳しいもので、うつわは立派でも、障害者として利用しやすいかどうかについては、厳しい評価でした。

皆さんとにかく利用してみましよう。その上でどの部分が使いにくいかなど声を出していきましよう。

意見・感想は次の通り

駐車場

・玄関側の2台の表示板が小さく見えにくい。



正面入り口エントランスホールにて記念撮影

・手前の芝生部分が車椅子がつかえて残念ながら人手を要する。美観より機能性を重視して欲しい。

受付カウンター

カウンターの高さが大・小あり配慮があつてよい。

照明

西日が強く真夏はどうか思いやられる。情報ラウンジ、特にインターネット4台が見にくくないか。

プール

プールと事務棟側が素通しで、あまりにも丸見えでプール利用者（見学者も）は気が恥ずかしいのでは。少しは磨りガラス又は植木ぐらいい植えてはどうか。

（この件は、後日一部改善されました）

通路ほかの施設

・ギャラリからプールへ行く車椅子用のスロープの左側が鋭角的で危ない？
・二階のバルコニー席の手すり頼りなく階下をのぞくと恐怖感がある。
・一階力フェアラウンジのガラス仕切りは危険。
・三階展望室は外側の柵が低く、高所恐怖症が倍加される。
・真ん中のイスは背あて付の木製ベンチの方がよい。

ふれあいサロン

草人形制作

6月17日・7月1日

午前10時～12時

指導：崎代 幸子さん

参加者 10人

草や葉、花、木の実などを使い、全部自然の素材を使って、お人形を作りました。作るのも大変だけど、材料を集めるのが最も大変です。まるで宝物のようにクッキーの箱に種や実、花びらなどが大切に収められていました。まず、根気よく材料を収集した崎代さんに敬意を払います。参加者ははじめての経験であり、細かい手作業なので

手の不自由な方には難しいような気がしましたが、指導者の崎代さんも手が多少不自由であり、リハビリのためになさっているそうです。



種や実でスカートのこまかい模様を

参加者の作品



作品の材料として使われるもの

ハスの花床・トウモロコシの皮・ハスの葉・ハスの葉の茎・ツクシ・ナタネ・メロンの種・トウガラシ・ヨウシュヤマゴボウ・ほおづき・ブドウの葉・スターチスの花・アケビ・ガマズミ・グンバイナズナ等

ふれあいサロン

健康体操

7月15日（金）保健センターの保健師さんによる血圧測定から開始。16名参加。後半デイサービス利用者も参加され、笑顔と歓声満載のサロンであった。

まず首や肩など、静かなストレッチ、腕や肩、足、手指などをゆっくり無理のないように動かし、たのしく健康体操を行った。又、軽いポールを使い、ボールの伸縮性を利用した運動など、参加者は皆楽しく参加できました。



無理せずにゆっくりやりましよう